

京都

2023 summer
No.42



ARCHITECTS

いのちと生活を支える環境デザイン

株式会社 内藤建築事務所

京都

2023年summer号 VOL.42 令和5年7月15日発行

目次

トピックス 雑誌掲載
「広島市立北部医療センター安佐市民病院」

トピックス 受賞報告
「南関町庁舎」

実績紹介 北九州八幡東病院(福岡県)

京の路地裏探訪 「八坂神社」

表紙の写真 祇園祭『鷹山』

竣工日より(令和5年3月～令和5年5月竣工) 令和5年5月末現在

所在地	施設名称	構造・規模	延床面積 (㎡)	工期 (令和年月)
静岡県	島田市立総合医療センター 増築	SRC(鉄骨)- 8/1	38,285	30.4～5.3 (令和元年1月本館竣工)
滋賀県	滋賀医科大学 基礎研究棟 改修	RC-6	6,650	3.10～5.3
静岡県	静岡済生会総合病院産婦人科病棟 改修	SRC-8/1	720 (改修)	4.4～5.3
福岡県	粕屋町立粕屋中学校 校舎 増築	RC(一部S)-3	1,420	4.7～5.3
大分県	医療法人新生会 高田中央病院 介護医療院 増築	RC-2	2,714	4.7～5.3
大阪府	大阪府赤十字血液センター 南大阪事業所 新築	RC(一部S)-2	2,696	4.7～5.4
岩手県	ウエキコーポレーション北上営業所 事務所棟 新築	S-2	407	4.10～5.4
京都府	医療法人社団千春会 千春会病院 MRI室 増築	S-1	53	5.1～5.4
東京都	セシオン杉並 改修	RC-4/1	8,006 (改修)	3.10～5.5
神奈川県	独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター西2病棟 改修	RC-7	80 (透視室改修)	4.12～5.5

前号追加

所在地	施設名称	構造・規模	延床面積 (㎡)	工期 (令和年月)
(追加) 広島県	広島大学(霞)動物実験棟 新築	S-5	1,503	3.12～5.2



祇園石段下の京煎堂さんの抹茶パフェ
ー抹茶パフェ巡りは続きますー

雑誌掲載

「広島市立北部医療センター安佐市民病院」

本施設は、新築移転により、高度・急性期医療機能に特化した広島市北部地域の中核病院であり、さらに広島県北西部地域の医療の要となる新病院として整備されました。JR可部線あき亀山駅に直結した利便性の高い敷地に整備され、救命救急、災害医療への対応など機能を拡充し、高度で先進的な医療が提供できる最新施設として、広く雑誌で紹介されました。

「医療福祉建築」に掲載されました

一般社団法人日本医療福祉建築協会の会誌1月号の「一般作品紹介」で、前崎真一(大阪事務所設計室室長)による記事が掲載されました。



「免震」に掲載されました

一般社団法人日本免震構造協会の会誌1月号の「免震建築紹介」で、前崎真一(大阪事務所設計室室長)、仲谷徳隆(設計部構造室室長)、佐藤忠俊(大阪事務所設計室)、岩瀬貴信(設計部構造室)による記事が掲載されました。



本施設は最新医療建築であるとともに、地下階の駐車場を柱頭免震でおさめることで、堅牢な地盤を深く掘削することなくコストダウンを図り建築計画と融合させたモデルケースとして評価されました。

「日本病院会雑誌」に掲載されました

一般社団法人日本病院会発刊の「日本病院会雑誌」1月号に掲載されました。



「全国自治体病院協議会雑誌」に掲載されました

公益社団法人全国自治体病院協議会発刊の「全国自治体病院協議会雑誌」2月号に掲載されました。



受賞報告

南 関 町 庁 舎

第26回 熊本アートポリス 推進賞を受賞しました。

第28回 熊本県木材利用優良施設コンクール くまもと県産材振興会賞を受賞しました。

ウッドデザイン賞2022 ソーシャルデザイン部門に入賞しました。



南関町庁舎

株式会社内藤建築事務所
代表取締役社長 川本誠二 様

この施設は、ついでには自然、環境、健康と
生活環境の改善に際して大変意匠を凝らした
建築デザインに対する熱心な取り組みによる
優れた文化及び環境文化の向上等による
顕著な功績を認められたと認められます。

令和5年(2023年)1月31日

***** 南関町 熊本県 南関町 南関町 南関町



- 学校を庁舎へコンバージョン -

南関町は、熊本県北部の福岡県との県境に位置する。町名の由来である南関は、関所があった歴史があり、現在は九州自動車道のインターチェンジを有するなど交通の要所である。既存の役場庁舎は昭和41年に建設され、老朽化と耐震診断より、建替えが必要となった。大地震時後も行政機能を維持し、町民の生命と財産を守るための防災拠点としての役割が求められた。敷地は、平成29年3月に閉校となった旧熊本県立南関高等学校の校舎の全部もしくは一部を庁舎機能・防災拠点としてコンバージョンを図り、事業費を抑えるといった、全国でも珍しい試みであった。

町が掲げる「コンパクトシティ構想」の中で、新庁舎は行政サービスの場だけでなく、町民の憩いの場として気軽に訪れるような建築にしたいという町の想いを具現化するために、既存校舎のコンバージョン+木造庁舎の増築を提案した。町のシンボルとして、関所であった由来から木造による“門”のような人々をやさしく迎え入れる建築を目指した。木造の増築棟に町民サービスの窓口機能を集約し、迅速な行政サービスの提供を図った。町民の憩いの空間として、「こもれびホール」を設け、熊本県産のヒノキとスギを多様した内装や日射遮蔽格子建具、南関産杉材を利用したカウンターを計画し、地域産材が可能な限り見える内装計画とした。開庁後、庁舎や駐車場、防災広場を活用したイベント開催など、賑わいも生まれており、まち全体に波及していくことを期待している。



緑あふれる南関町になじむ木造庁舎



関所の門をモチーフにした外観

◆ 建築概要

所在地：熊本県玉名郡南関町
 建築主：南関町
 敷地面積：17,505㎡
 延床面積：1,406㎡
 (改修4,897㎡)
 構造規模：W造 2F
 (改修RC造 3F)
 竣工：令和4年2月



1階福祉課 南関町産杉を使用したカウンター



外観夜景 西面



1階待合 竹細工をモチーフにした日除け格子



質の高い心のこもった医療・介護を 提供しつづける新病院

◆ 建築概要

所在地：福岡県北九州市八幡東区
 建築主：社会医療法人北九州病院
 敷地面積：13,223㎡
 延床面積：20,001㎡
 構造規模：RC造（一部S造）6F
 病床数：480床
 （内、介護医療院60床）
 竣工：令和4年7月



南西面外観

北九州八幡東病院は、地域における病病連携、病診連携の役割を担う病院である。旧病院は約22年前に弊社にて設計・監理しており、今回はその移転新築工事であった。病院のある八幡東区は南にそびえる皿倉山の自然環境や製鉄・石炭に関するさまざまな近代化遺産が残る、環境や文化に富んだ地域である。新病院は、隣地に同じ北九州病院グループが運営する八幡健診プラザがあり、JR八幡駅に近接するアクセスの良い場所へと移転した。

主玄関前にピロティ状の車寄せを設け、雨に濡れずに主玄関へアクセス可能な動線を計画。1階には総合待合を中心に来院者さんや患者さんにとってわかりやすい診療部門を構成した。また、来院者さんとスタッフの動線を明確に分離し、スタッフオンリーエリア内に供給・管理部門を配置した。

2～5階の病棟階はワンフロア2看護にて構成。一般用EVホールより左右を見ると、それぞれのスタッフステーションが目に入る。各病棟の中央にスタッフステーションを設け、それを取り囲むように病室や食堂談話室を配置することで患者さんの見守りやすさに配慮した。また、病棟の再編に対応可能なフレキシブルかつ感染区画も可能な病棟構成とした。各病棟には特に見守りが必要な患者さんへの対応として、スタッフステーションに面して窓を設けた病室を設けている。5階東には介護医療院を配置し、多床室は家具で仕切ることによって個室感のあるつくりとした。

6階は回復期リハビリテーション病棟とリハビリテーション室を同一フロアとし、患者さんの移動負担の軽減に配慮した。また、職員ラウンジ及び会議室を設け、可動間仕切りにて一体的な利用も可能な計画とした。



南東側鳥瞰夜景



エントランス（1階）



スタッフステーション（3階東）



4床室



総合待合（1階）

八坂神社 Yasaka-jinja Shrine

豪壮かつ華麗な祇園祭は、千百年の伝統を有する八坂神社の祭礼です。八坂神社は平安京遷都（七九四）以前より鎮座する古社で、「祇園さん」と呼ばれ親しまれています。

主祭神の素戔鳴尊（すさのをのみこと）はあらゆる災いを祓う神様として信仰されており、境内には数多くの神様をお祀りされています。全国約2,300社鎮座する八坂神社、祇園信仰神社の総本社です。

本殿は令和2年（2020）12月に国宝に指定され、他29棟の重要文化財の建造物が立ち並んでいます。八坂神社本殿は、本殿と拝殿（礼堂）が大屋根ひとつで覆われ、1つの建物として建築されています。これは他に類を見ない、八坂神社独自の建築様式です。このような建築方法は平安時代に成立しており、鎌倉時代には現在の本殿とほぼ同じ構造であったと言われていました。本殿の大屋根（檜皮葺）の下に北・東・西面の三方へ伸びる庇「又庇」があります。これは八坂神社の社殿にのみ見られる特殊な様式です。ちなみにその庇の下にはいくつかの部屋が設けられています。また、このような独特の様式は、境内の摂末社にも見られます。



本殿は池の上に建っており、その池は青龍の住む龍穴だと言われています。内々陣下がその位置になります。ですがその池は現在、亀腹状に盛り上がった漆喰で固められており、見ることはできません。

西楼門をくぐって直ぐに鎮座する狛犬・獅子像の台座には、京の都を守護しているとされる四神の装飾が施されています。獅子像の台座には、水しぶきを上げ躍動する崇高な青龍の姿が描かれています。京の東を守護しているとされる青龍です。



「石鳥居(重要文化財)」八坂神社の表参道・正門南楼門前に建つ石鳥居。明神鳥居。祇園祭の際に、神輿はこの鳥居より出発します。



「西楼門(重要文化財)」



「疫神社(重要文化財)」



「美御前社(重要文化財)」



「北向蛭子社(重要文化財)」



「日吉社(重要文化財)」



美御前社(うつくしごぜんしゃ)社前に湧き出るご神水「美容水」を肌に数滴つけると身も心も綺麗になるといいます。

祇園祭「鷹山」



祇園祭は疫病退散を願い、平安時代に始まり、山鉾が登場したのは十四世紀頃とされています。

最盛期の室町時代には六十基が巡行し、応仁の乱の断絶を経て江戸中期には現在と同じ三十四基（前祭（さきまつり）二十三基、後祭（ごまつり）十一基）になったとの記録が残っています。

鷹山は「長刀（ながなた）鉾」などに匹敵する大型の「曳山（ひきやま）」で、江戸後期の一八二六年（文政九年）の風雨で損壊。翌年から巡行に参加しない「休み山」となり、一八六四年の禁門の変（蛤御門の変、元治の変とも呼ばれます）でほぼ焼失してしまいました。

鷹山の再建話は昭和の時代にも何度も持ち上がりましたが、実現には到りませんでした。しかし、二〇一二年に「鷹山の歴史と未来を語る会」がスタート、二〇一四年には囃子方（はやしかた）ができ、二〇一五年には保存会が発足しました。

行政の補助金なども含めて約2億円を確保。調達が難しい木の部材や車輪も他の山鉾から譲り受け、再利用することで、当初二〇二六年を目指していた巡行復帰は四年前倒しで去年二〇二二年七月二四日の「後祭」で一九六年ぶりに復帰しました。

鷹山の復活で、江戸時代に山鉾巡行に参加していた三十四基がすべてそろうことになりました。



巡行復帰と言えば、二〇一四年の後祭の復活とともに「大船鉾（おおふねほこ）」が一五〇年ぶりに復興しています。新町通にある四条町は、かつて豊かであったため北四条町と南四条町に分かれ、一年交替で巡行を受け持ち、北四条町が出すときは舳先に「龍頭」を、南四条町が出すときは「御幣」を掲げて巡行していました。現在も隔年で舳先を飾り巡行しています。今年「金幣」の年です。



各山鉾町では宵山の期間中、表の格子を外して秘蔵の屏風や美術品、調度品などを飾り、通りから鑑賞してもらえようとしています。飾られるものに屏風が多いため「屏風祭」と呼ばれています。

「山鉾巡行」は動く美術館とも言われ、この「屏風祭」は静の美術館と言われています。鑑賞も静かな気持ちで迷惑をかけないように。



内藤建築事務所

■本社

〒606-8202
京都市左京区田中大塚町182
TEL:075-781-4111/FAX:075-701-2423
E-Mail:kyoto@naito-archi.co.jp

■東京本社

〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-12-8 HF八丁堀ビルディング6階
TEL:03-5543-2131/FAX:03-5543-2135
E-Mail:tokyo@naito-archi.co.jp

■本社



■東京本社



■東京事務所

〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-12-8 HF八丁堀ビルディング6階
TEL:03-5543-2131/FAX:03-5543-2135
E-Mail:tokyo@naito-archi.co.jp

■名古屋事務所

〒460-0003
名古屋市中区錦1-7-32 名古屋Sビル5階
TEL:052-212-4645/FAX:052-212-4051
E-Mail:nagoya@naito-archi.co.jp

■大阪事務所

〒541-0045
大阪市中央区道修町1-4-6 ミフネ道修町ビル5階
TEL:06-6203-7110/FAX:06-6203-7122
E-Mail:osaka@naito-archi.co.jp

■広島事務所

〒732-0052
広島市東区光町1-13-20 ディア・光町ビル3階
TEL:082-568-5544/FAX:082-568-5545
E-Mail:hiroshima@naito-archi.co.jp

■九州事務所

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前1-14-16 博多駅前センタービル5階
TEL:092-441-6836/FAX:092-451-4860
E-Mail:kyushu@naito-archi.co.jp

■静岡事務所

〒420-0859
静岡市葵区栄町2-5 アークビル5階
TEL:054-253-6347/FAX:054-255-7859

■奈良事務所

〒634-0078
奈良県橿原市八木町1-7-3 橿原ビル4階
TEL:0744-29-0322/FAX:0744-25-7159

■四国事務所

〒781-0806
高知市知寄町2-2-41 知寄町マンション2階
TEL:088-883-4280/FAX:088-883-4272

■南九州事務所

〒892-0871
鹿児島市吉野町3095-157
TEL:099-294-0311/FAX:099-294-0311

■長野営業所

〒381-0043
長野市吉田3-14-17
TEL:026-241-0590/FAX:026-241-1245

■福井営業所

〒918-8112
福井市下馬2-812
TEL:0776-43-6027/FAX:0776-43-6029

■神戸営業所

〒650-0012
神戸市中央区北長狭通5-5-12
TEL:078-367-6255/FAX:078-367-6256

■和歌山営業所

〒640-8354
和歌山市北/新地東ノ丁1
TEL:073-435-6080/FAX:073-435-6101

■長崎営業所

〒852-8023
長崎市若草町13-3
TEL:095-844-5151/FAX:095-844-5151

■宮崎営業所

〒886-0006
宮崎県小林市北西方3000-1
TEL:0984-27-2485